お知らせ

デジタルカメラ
品番 DMC-LX3

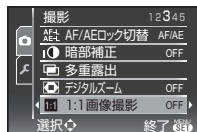
DMC-LX3ファームウェアアップデートについて

ファームウェアバージョン 2.0 より、以下の機能を追加および変更しました。
カメラ本体の取扱説明書とあわせてお読みください。

● ファームウェアバージョンは、セットアップメニューの[バージョン表示]で確認できます。

画像横縦比 1:1 の撮影機能を追加しました。

撮影メニューに [1:1 画像撮影] を追加しました。
プリントや再生方法に合わせて、画像横縦比を 1:1（正方形横縦比）で撮影できます。

1 撮影メニューから [1:1 画像撮影] を選び、▶ を押す

2 ▲/▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

- アスペクト切換スイッチがどの位置でも設定できます。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- インテリジェントオートモード、動画撮影モードでは使えません。
- 設定を解除するには[1:1 画像撮影]を[OFF]にする、またはアスペクト切換スイッチを切り換えてください。アスペクト切換スイッチの位置の横縦比になります。
- 記録画素数の設定は以下になります。
  7.5M（**7.5M**）[2736×2736画素]、5.5M（**5.5M EZ**）[2304×2304 画素]、
  3.5M（**3.5M EZ**）[1920×1920画素]、2.5M（**2.5M EZ**）[1536×1536 画素]
- 以下のシーンモードの画像サイズは2.5M（1536×1536画素）になります。[クオリティ]は自動で[ ]になります。
  高感度 / 高速連写 / フラッシュ連写 / ピンホール / サンドブラスト
- 以下の機能の横縦比も[1:1]になります。
  RAW 記録 /AF エリア選択 / 多重露出 / ガイドライン表示 /MF アシスト
- セットアップメニューの [Fn（ファンクション） ボタン設定] に [1:1 画像撮影] を追加しました。
- [1:1画像撮影]を[ON]に設定すると、[マルチアスペクト]撮影で横縦比[1:1]の画像も撮影できます。
  1回シャッターボタンを押すと、横縦比 [4:3]/[3:2]/[16:9]/[1:1] の画像を自動的に 4 枚撮影します。画像サイズの組み合わせは以下になります。

[4:3]	→	[3:2]	→	[16:9]	→	[1:1]
10M		9.5M		9M		7.5M
7M		6.5M		6M		5.5M
5M		4.5M		4.5M		3.5M
3M		3M		2.5M		2.5M

- 記録画素数が2.5M（1:1）より大きい画像に文字焼き込みする場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  7.5M/5.5M/3.5M→2.5M（1:1）
- [リサイズ] 設定時に、横縦比 [1:1] の画像もリサイズできるようになります。
- [横縦比変換] 設定時に、横縦比 [1:1] にも変換できるようになります。

■ 記録可能枚数（静止画：枚）

- 記録可能枚数は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数は変動します。

画像横縦比		1：1								
記録画素数		7.5M：7.5M (2736×2736)					5.5M：5.5M EZ (2304×2304)			
クオリティ		RAW	RAW+ファイン	RAW+スタンダード	ファイン	スタンダード	RAW+ファイン	RAW+スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー(約50 MB)		5	3	4	13	26	4	4	18	37
カード	32 MB	3	2	2	7	15	2	2	10	21
	64 MB	6	4	5	15	32	4	5	22	45
	128 MB	12	9	10	33	65	9	11	46	92
	256 MB	25	17	20	65	125	19	22	91	180
	512 MB	49	35	41	125	250	39	43	180	350
	1 GB	100	72	83	250	510	78	87	360	710
	2 GB	200	145	165	520	1020	155	175	730	1420
	4 GB	390	280	330	1030	2010	310	340	1450	2800
	8 GB	810	580	670	2090	4090	630	700	2950	5710
	16 GB	1630	1170	1360	4220	8230	1280	1420	5950	11490
	32 GB	3270	2360	2730	8470	16520	2560	2860	11940	23050

画像横縦比		1：1							
記録画素数		3.5M：3.5M EZ (1920×1920)				2.5M：2.5M EZ (1536×1536)			
クオリティ		RAW+ファイン	RAW+スタンダード	ファイン	スタンダード	RAW+ファイン	RAW+スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー(約50 MB)		4	4	27	53	4	4	42	82
カード	32 MB	2	2	15	30	2	2	24	47
	64 MB	5	5	32	63	5	5	50	98
	128 MB	10	11	66	125	11	12	100	200
	256 MB	21	22	130	250	22	23	200	390
	512 MB	41	45	250	500	44	46	400	770
	1 GB	83	90	520	1000	88	93	800	1540
	2 GB	165	180	1040	1980	180	190	1610	3070
	4 GB	330	360	2040	3890	350	370	3170	6030
	8 GB	670	730	4160	7920	720	760	6460	12280
	16 GB	1360	1470	8370	15940	1440	1520	13000	24700
	32 GB	2730	2960	16800	31970	2900	3060	26080	49560

ホワイトバランス(WB)ブラケット機能を追加しました。

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に 3 枚撮影します。

1 **撮影メニューから [ホワイトバランス] を選び、▶ を押す**

2 **▲/▼ で項目を選び、▶ を押す**

- [1]、[2] または [SET K] を選択した場合は、もう一度 ▶ を押してください。
- ホワイトバランス微調整の画面が表示されます。

3 **[DISPLAY] を押し、ホワイトバランスブラケットの設定画面に切り換える**

- 再度[DISPLAY]を押すと、ホワイトバランス微調整の画面に戻ります。

4 **▲/▼/◀/▶ でブラケット設定を行う**

▲、▼:縦方向(G+ 〜 M−)

◀、▶:横方向(A 〜 B)

- ブラケットの位置は、横方向または縦方向のどちらか一方のみ設定できます。

5 **[MENU/SET] を押す**

お知らせ

- 設定すると、液晶モニターに [WB] が表示されます。
- ブラケットの位置は、ホワイトバランス微調整の端(限界値)を超えて設定できません。
- ブラケットの設定後にホワイトバランス微調整をすると、変更後の調整値を中心にブラケット撮影されます。
- シャッター音は 1 回しか鳴りません。
- 電源を [OFF] にすると、ホワイトバランスブラケットの設定は解除されます。

ホワイトバランスブラケット

- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定しているときは、ホワイトバランスブラケットは働きません。
- インテリジェントオートモード、動画撮影モードでは使えません。
- ホワイトバランス微調整ができないシーンモードでは使えません。
- 以下の機能とは同時に使えません。
  オートブラケット / マルチアスペクト / 連写 / マルチフィルム / 多重露出 / 音声記録

露出補正とオートブラケットの補正を ±3 EV まで設定できるようにしました。

露出補正とオートブラケットの補正が ±3 EV まで設定できるようになりました。

ガイドラインの位置を設定できるようにしました。

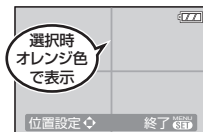
セットアップメニューの [ガイドライン表示] に [位置設定] を追加しました。
ガイドラインの位置を設定できます。

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)
ガイドライン表示	[位置設定]: ▶[OFF] [ON]

1 セットアップメニュー[ガイドライン表示] の [位置設定] を [ON] に設定する

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を設定する

- [🗑] を押すとガイドラインは中央に戻ります。

3 [MENU/SET] を押して位置を決定する

■ 液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY]を押して切り換える

※ 1: セットアップメニュー[ガイドライン表示] の [位置設定] を [ON] に設定したときのみ切り換えることができます。
※ 2: 撮影メニューの[外部ファインダー]を[ON]に設定したときのみ切り換えることができます。

セットアップメニューに [レンズ位置メモリー] を追加しました。

電源を [OFF] にしたときのズーム位置や MF(マニュアルフォーカス)位置を記憶することができます。

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
レンズ位置メモリー	[ズーム位置メモリー]: ▶[OFF] [ON] 電源を [ON] にすると、電源を [OFF] にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 [MF 位置メモリー]: ▶[OFF] [ON] マニュアルフォーカスで設定したMF位置を記憶します。もう一度マニュアルフォーカスの撮影状態になると、記憶したMF位置に自動的に戻ります。 以下のときに MF 位置を記憶します。 ● 電源を [OFF] にしたとき ● フォーカス切換スイッチを [MF] 以外に切り換えたとき ● 再生モードに切り換えたとき ●[ズーム位置メモリー] が [OFF] の場合、ズーム位置は W 端になります。 ●[MF 位置メモリー] が [OFF] の場合、MF 位置は∞(無限遠)になります。 ●撮影条件によっては、記憶したときと復帰したときの MF 位置は異なる場合があります。

シーンモードに [ハイダイナミック] を追加しました。

逆光の風景や、夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真をかんたんに撮影することができます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ハイダイナミック</td><td>

効果の設定

1 ▲/▼ で効果を選び、[MENU/SET] を押す

- クイックメニューでも、設定の変更ができます。

[STD]:自然な色合いの効果
[ART]:コントラストと色を強調した印象的な効果
[B&W]:白黒の効果

2 撮影する

- [ISO 感度] は [ISO400] に固定されます。
- RAW 画像は記録できません。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- ピントが合う範囲は 1 cm(W端時)/30 cm(T端時)〜∞です。
- 暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。
- フラッシュは[ ]、[ ]のみになります。
- 連写、[オートフォーカスモード]の[ ]は使えません。

</td></tr>
</table>

画像にユーザー名を記録できるようにしました。

セットアップメニューに [ユーザー名記録] を追加しました。
撮影時にユーザー名を画像に記録できます。画像に記録されたユーザー名は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」で確認できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定(▶ はお買い上げ時の設定です)・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ユーザー名記録</td><td>

▶[OFF]: ユーザー名を記録しません。
[ON]: ユーザー名を記録します。
[設定]: ユーザー名を登録(変更)します。

ユーザー名を登録(変更)するには

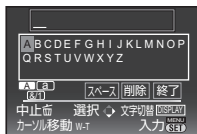
1 ▲/▼/◀/▶ で文字を選び、[MENU/SET] を押して入力する

- 入力できる文字は A / a (アルファベット)と &/1 (記号/数字)のみです。入力できる文字数は最大64文字です。
- 入力文字を切り替えるには、[DISPLAY]を押してください。
- 入力位置のカーソルを移動するには、ズームレバーを操作してください。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を削除したいときは[削除]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[ ]を押してください。

ABCDEFGHIJKLMNOP
QRSTUVWXYZ
A a &/1 スペース 削除 終了
中止 選択 文字切替 DISPLAY
カーソル移動 W-T 入力 MENU SET

2 ▲/▼/◀/▶ で[終了]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] を押して入力を終了する

- RAW 画像にはユーザー名を記録できません。
- 撮影後の画像にはユーザー名を記録できません。
- 記録したユーザー名を本機で確認することはできません。

</td></tr>
</table>

セットアップメニューに [メニュー位置メモリー] を追加しました。

最後に操作したメニューの位置を記憶することができます。

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）
メニュー位置メモリー	▶ [OFF] [ON]

再生モードでもハイライト表示ができるようになりました。

セットアップメニューの [ハイライト表示] を [ON] に設定すると、再生モード時でも白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

お知らせ

- 再生ズーム、2 画面再生、スライドショー、動画再生、音声付き静止画再生、カレンダー検索、マルチ再生時は働きません。

デジタル赤目補正機能を変更しました。

撮影メニューに [デジタル赤目補正] を追加しました。
お好みに応じて [デジタル赤目補正] の設定を [ON]/[OFF] できます。

1 **撮影メニューから [デジタル赤目補正] を選び、▶ を押す**

2 **▲/▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す**

- フラッシュ設定の赤目軽減アイコンに [ ] が表示されます。

3 **フラッシュを [ ]、[ ] または [ ] に設定する**

- [オートフォーカスモード] が [ ] で顔認識しているときにフラッシュ撮影すると、認識した顔の赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

お知らせ

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- インテリジェントオートモード時の [デジタル赤目補正] の設定は [ON] になります。
- [OFF] に設定すると、デジタル赤目補正は働きません。

カスタムセットに保存される項目を変更しました。

カスタムセットに保存されるメニュー、機能は以下になります。

撮影メニュー/ 撮影機能		セットアップメニュー
● フィルムモード	● デジタルズーム	● Fn ボタン設定
● 記録画素数	● 1:1 画像撮影	● ガイドライン表示
● クオリティ	● 手ブレ補正	● ヒストグラム表示
● インテリジェント ISO	● 下限シャッター速度	● ハイライト表示
● ISO 感度	● 音声記録	● レンズ位置メモリー
● ISO 感度上限設定	● AF 補助光	● MF アシスト
● ホワイトバランス	● フラッシュシンクロ	
● 測光モード	● デジタル赤目補正	
● オートフォーカスモード	● 外部ファインダー	
● プリ AF	● コンバージョン	
● AF/AE ロック切替	● 撮影モード	
● 暗部補正	● 露出補正	

再生メニュー[コピー] の表示を変更しました。

以下のように表示を変更しました。

- [コピー] → [IN↔SD 画像コピー]
- [IN→] → [IN→SD]
- [→IN] → [SD→IN]

メッセージ表示を追加しました。

カードを入れ直してください / 別のカードでお試しください

これらのメッセージが表示されたときは、以下のことを実行してください。

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。
- 別のカードを入れてお試しください。